

秋冬ダイコンマルチ栽培による根部の肥大促進

福島県農業総合センター 浜地域研究所
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

野菜 - ダイコン - 作型、病害虫発生
分類コード 03-18-18220000

2 担当者

水野由美子・常盤秀夫

3 要旨

相双地域における秋冬ダイコンの慣行栽培は8月下旬～9月1半旬播種であるが、マルチ栽培を行うことにより根部の肥大が促進されるため、9月中旬播種が可能と考えられた。

- (1) 9月中旬播種でマルチ栽培をすることにより、収穫時の根重が無マルチ栽培に比べ約10～40%増加した。
- (2) 無防除条件下でのキスジノミハムシおよびタネバエによる根部被害は、9月上旬播種で60%程度発生したのに対し、9月中下旬播種では20%程度であった。
- (3) 以上のことから、マルチ栽培では根部の肥大が促進されるため、9月中旬播種が可能となり、キスジノミハムシおよびタネバエによる根部被害を軽減することができた。
- (4) 根部の肥大、虫害発生は、秋冬期間の気象によって変動することがあるので留意する。

4 その他の資料等

なし